# 第75期　中間報告書

（自　2020年4月1日　至　2020年9月30日）

証券コード5697

株式会社サンユウ

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループにおける第75期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け各種の経済活動が制限されたことから、国内経済が急速に悪化し厳しい状況となりました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界の主要需要家である自動車業界では、工場の稼働停止や減産措置により、生産活動が大きく下振れしました。また、建産機業界におきましても自動車業界と同様に厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社は新規案件の開拓、外注加工の内製化、固定費の削減及び在庫水準の適正化に取り組みましたが、活動水準の低下とそれに伴う工場の一時稼働停止により、当社の販売数量及び生産数量も大幅な落ち込みを余儀なくされ、販売数量は42千トン（前年同四半期比34.9％減）となり、売上高も7,300百万円（前年同四半期比30.9％減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少とそれに伴う固定費負担が大きく影響し、営業損失は171百万円（前年同四半期は営業利益301百万円）、経常損失は66百万円（前年同四半期は経常利益318百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は134百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益174百万円）となりました。

わが国経済は、今後官民一体となって新型コロナウイルスの感染拡大の防止策を講じつつ、活動レベルを引き上げていくことが予想され、企業収益及び雇用環境等も改善していくものと思われます。

当社グループにおきましては、保有する生産設備の効率的且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の確保を図る所存であります。

これらにより、2021年3月期の業績予想につきましては、売上高は16,700百万円（前期比18.3％減）、損益につきましては、経常利益は150百万円（前期比60.2％減）、親会社株主に帰属する当期純損失は30百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益158百万円）を見込んでおります。

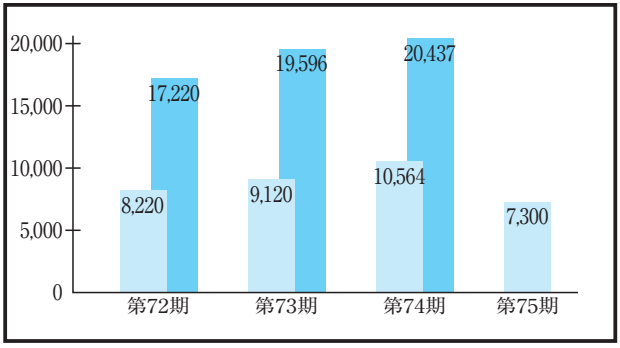
株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020年12月

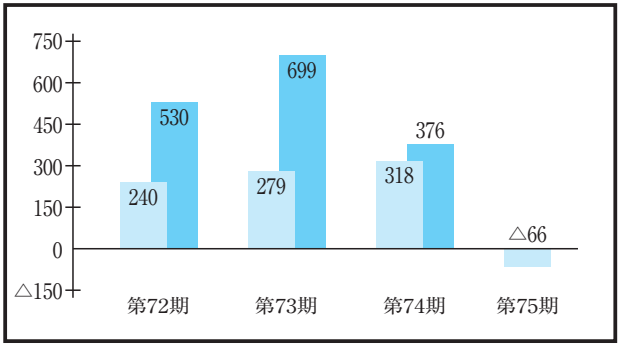
代表取締役社長　西野淳二

## 連結業績の推移

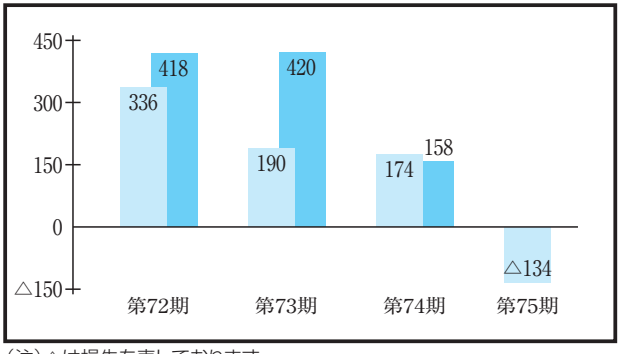
■売上高（単位：百万円）　第2四半期（累計）　通期




■経常利益（単位：百万円）　第2四半期（累計）　通期




■親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益（単位：百万円）　第2四半期（累計）　通期




（注）△は損失を表しております。

# 事業の内容

## ●生産

**大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。**

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある本社工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

## ●品質管理

**鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。**

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいうべき引抜ダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しております。
また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。
㈱サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

## ●物流

**業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。**

「必要なとき必要な製品を必要なだけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では入出庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。
また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、㈱サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ㈱及び大同磨鋼材工業㈱の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

## ●技術

**優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。**

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜加工等により生産しています。冷間引抜加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜ダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。
このうち、みがき棒鋼は（引き抜き－矯正）工程または（表面切削（ピーリング）－矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜機（ドローベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

# 四半期連結財務諸表の要旨

## 第2四半期連結貸借対照表（2020年9月30日現在）

（単位：千円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| ［資産の部］ | |
| **流動資産** | **9,765,327** |
| 現金及び預金 | 2,381,872 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,172,120 |
| 棚卸資産 | 3,204,623 |
| その他 | 6,710 |
| **固定資産** | **5,565,318** |
| **有形固定資産** | **5,144,167** |
| 建物及び構築物 | 1,400,958 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,766,082 |
| 土地 | 1,832,840 |
| その他 | 144,285 |
| **無形固定資産** | **132,488** |
| **投資その他の資産** | **288,663** |
| **資産合計** | **15,330,646** |
| ［負債の部］ | |
| **流動負債** | **5,508,825** |
| 支払手形及び買掛金 | 2,776,010 |
| 短期借入金 | 1,810,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 267,849 |
| その他 | 654,966 |
| **固定負債** | **1,339,018** |
| 長期借入金 | 1,002,236 |
| 退職給付に係る負債 | 118,391 |
| その他 | 218,390 |
| **負債合計** | **6,847,844** |
| ［純資産の部］ | |
| **株主資本** | **7,895,573** |
| 資本金 | 1,513,687 |
| 資本剰余金 | 1,303,508 |
| 利益剰余金 | 5,099,769 |
| 自己株式 | △ 21,392 |
| **その他の包括利益累計額** | **3,871** |
| その他有価証券評価差額金 | 3,871 |
| **非支配株主持分** | **583,357** |
| **純資産合計** | **8,482,802** |
| **負債・純資産合計** | **15,330,646** |

（注） 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨鋼材工業株式会社の2社であります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 12,634,105千円

## 第2四半期連結損益計算書
（自　2020年4月1日　至　2020年9月30日）

（単位：千円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 売上高 | 7,300,547 |
| 売上原価 | 6,431,554 |
| **売上総利益** | **868,993** |
| 販売費及び一般管理費 | 1,040,384 |
| **営業損失** | **171,390** |
| 営業外収益 | 118,326 |
| 営業外費用 | 13,353 |
| **経常損失** | **66,417** |
| 特別利益 | 93 |
| 特別損失 | 58,513 |
| **税金等調整前四半期純損失** | **124,837** |
| 法人税、住民税及び事業税 | 30,401 |
| 法人税等調整額 | △ 35,079 |
| **四半期純損失** | **120,159** |
| **非支配株主に帰属する四半期純利益** | **13,984** |
| **親会社株主に帰属する四半期純損失** | **134,143** |

（注） 1株当たり四半期純損失 22円19銭

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書
（自　2020年4月1日　至　2020年9月30日）

（単位：千円）

| 科目 | 金額 |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 557,940 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 138,477 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 395,206 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 814,669 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,567,202 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,381,872 |

## 会社の概要

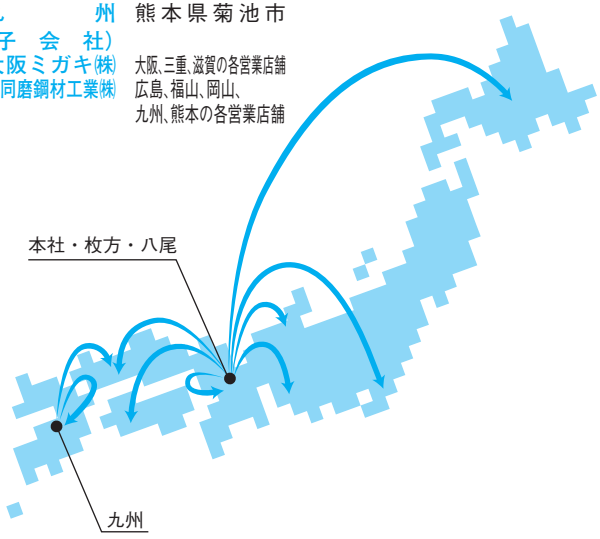
2020年9月30日現在

| | |
|---|---|
| 社名 | 株式会社サンユウ |
| 所在地 | 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号<br>電話：072-858-1251　FAX：072-858-2672 |
| 設立 | 1957年1月 |
| 資本金 | 1,513百万円 |
| 従業員数 | 200名（単体）、306名（連結） |
| 事業内容 | みがき棒鋼の製造、加工及び販売<br>冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売 |

## 主な事業所及びネットワーク

2020年9月30日現在

| | |
|---|---|
| 本社 | 大阪府枚方市 |
| （営業店舗） | |
| 枚方 | 大阪府枚方市 |
| 八尾 | 大阪府八尾市 |
| 九州 | 熊本県菊池市 |
| （工場） | |
| 本社 | 大阪府枚方市 |
| 八尾 | 大阪府八尾市 |
| 九州 | 熊本県菊池市 |
| （子会社） | |
| 大阪ミガキ㈱ | 大阪、三重、滋賀の各営業店舗 |
| 大同磨鋼材工業㈱ | 広島、福山、岡山、<br>九州、熊本の各営業店舗 |




## 重要な子会社の状況

2020年9月30日現在

| 会社名 | 資本金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|---|---|---|---|
| 大阪ミガキ株式会社 | 40百万円 | 67.5% | みがき棒鋼の製造及び販売 |
| 大同磨鋼材工業株式会社 | 20百万円 | 100.0% | 鋼材の販売 |

## 役員

2020年9月30日現在

| | |
|---|---|
| 代表取締役社長 | 西野淳二 |
| 取締役 | 加藤和彦 |
| 取締役 | 清水良寛 |
| 常勤監査役 | 藤田典明 |
| 監査役 | 仲山隆之 |
| 監査役 | 生方徹 |
| 上席執行役員 | 水野由実 |
| 上席執行役員 | 松井亮一 |
| 上席執行役員 | 八木信郎 |
| 執行役員 | 大槻晃弘 |
| 執行役員 | 笹山英俊 |
| 執行役員 | 向井徹 |
| 執行役員 | 大木光一 |
| 執行役員 | 安積光治 |

（注）1. 取締役清水良寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役藤田典明、仲山隆之及び生方徹の3氏は社外監査役であります。
3. 2020年10月1日に常勤監査役の交代に伴い、生方徹氏が常勤監査役、藤田典明氏が監査役となりました。

## 株式の状況

2020年9月30日現在

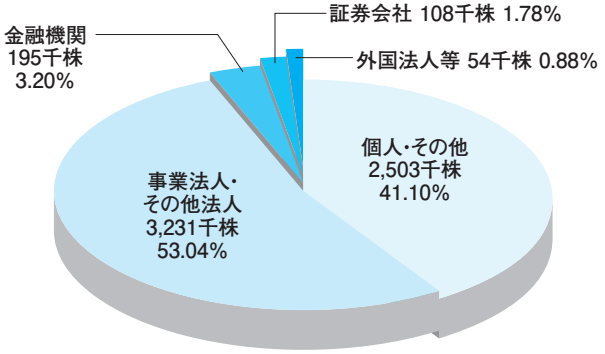
| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 19,344,000株 |
| 発行済株式の総数 | 6,091,000株 |
| 株主数 | 1,196名 |

### 大株主（上位10名）

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---|---|---|
| 日本製鉄株式会社 | 2,035 千株 | 33.67 % |
| 村岡克彦 | 352 | 5.83 |
| 株式会社メタルワン | 315 | 5.21 |
| 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 | 295 | 4.88 |
| 日鉄物産株式会社 | 250 | 4.14 |
| 永田麻里 | 187 | 3.10 |
| 佐藤商事株式会社 | 180 | 2.98 |
| サンユウ従業員持株会 | 174 | 2.88 |
| 柏木伸夫 | 135 | 2.25 |
| 株式会社りそな銀行 | 110 | 1.82 |

（注）持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（46,496株）を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況




## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会　毎年3月31日<br>期末配当金　毎年3月31日<br>中間配当金　毎年9月30日<br>その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。 |
| 公告方法 | 電子公告により当社ホームページ（http://www.sanyu-cfs.co.jp）に掲載いたします。<br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 各種お問合せ先<br>郵便物送付先 | 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部<br>電話 0120-094-777（通話料無料） |
| ※受付時間 | 9：00～17：00（土、日、祝祭日、年末年始を除く） |

### IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけます。

https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。